

1 調査日 平成30年9月13日（木）

2 調査の概要

(1) びわ湖テラス（大津市木戸）

県内では、琵琶湖に関わる様々な企業活動が行われている。

びわ湖バレイ株式会社が運営するびわ湖テラスは、雄大なパノラマの大自然を感じながら琵琶湖を眺望でき、多くの人々が訪れるなど、県内外からの関心も高い。琵琶湖の価値を発信するびわ湖テラスを訪問し、琵琶湖を活かす取り組みについて調査を行った。



(2) 株式会社コクヨ工業滋賀（愛荘町上蚊野）

県内では、企業や団体による、琵琶湖を中心とした環境保全等に関する積極的な活動が行われている。

株式会社コクヨ工業滋賀においては、ボランティアで刈ったヨシを原材料の一部として使用し、琵琶湖のヨシからできたエコ文具「リエデンシリーズ」を商品として展開されている。

こうしたことから、企業における琵琶湖を中心とした環境保全活動の現状と課題について調査を行った。



(3) ヨシでびわ湖を守るネットワーク（愛荘町上蚊野）

「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」において、琵琶湖は国民的資産と位置付けられた。琵琶湖の保全再生の推進にあたっては、県民をはじめとした多くの人々の理解と関心を深めることにより、多様な主体の協力を得ることが重要である。

「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」は様々な企業や団体に構成され、ヨシ原の保全活動とヨシの活用を通して環境と経済の両立を目的とした活動が行われている。

こうしたことから、琵琶湖を活かす取り組みのあり方について、多様な視点から検討を行うため、ヨシ原の保全活動等に携わる方々との県民参画委員会を実施し、琵琶湖に関わる様々な県民活動の現状や課題等について意見交換を行った。

